

事業概要

モデル事業名	多様な人がつどい、支えあうための「生きがい工房」の開設事業
分類	■一般枠 □震災対応案件
事業実施主体名	「生きがい工房」開設準備会
実施期間	平成 23 年 11 月 8 日～平成 24 年 3 月 31 日
支援額	6,000,000 円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	<p>特定非営利活動法人 シーン 特定非営利活動法人 日本スローワーク協会 社会福祉法人 花の会 お茶の間設計 大阪府立阿武野高等学校 自立支援コース「ぴあ」 高槻市 男女共同参画課 高槻市 高齢福祉課 真継 和子（学校法法人 大阪医科大学 看護学部在宅看護学准教授）</p>
目的・趣旨	<p>【目的】 高齢者・子ども・障がい者・女性などに対する虐待やDVなどの背景には、性役割分業から生じる過剰な抑圧が根底にあるなど共通課題が多く見られる。しかし、官民を問わず人権（男女共同参画）に関する具体事業は、性別や年齢・障がいの有無などによって縦割りで行われている。本事業では、対象者によって別々に取り組んできた支援や蓄積してきた経験を、相互に補完し合う中で人権（男女共同参画）の視点による課題解決をめざし、より効果的で具体の支援に取り組めるよう地域に根ざした拠点「生きがい工房」を開設する。支援の対象となる高齢者・障がい者や女性等をエンパワメントし、支援される側にとどめることなく、社会とのつながりを通して、自らが支援する側になれることを目的に、居場所や役割・仕事づくりに取り組み、支援者となった人のスキルの向上をめざす。</p> <p>また、高齢者の資財を頼りとする同居の子どもによる高齢者虐待も、今日的課題となっている。これまであまり接点が無かった引きこもりの若者支援に取り組む団体や、ジェンダー（性役割意識）の視点で虐待予防等に取り組んできた団体が知恵を出し合い、「生きがい工房」開設事業を通し、高齢者虐待の問題に取り組む一歩とする。</p>
事業内容	<p>【内容】 平成 19(2007)年 12 月改定されたたかつき男女共同参画プランの基本課題 2「職場・家庭・地域における男女共同参画の実現について」の基本的方向 6「高齢者等が生きがいを持って安心して暮らせる環境の整備」の具体的施策 18「高齢者等の社会参加」に街かどデイハウス事業の実施が謳われ</p>

ている。

上記のとおり、高槻市は高齢者が要支援・要介護状態になるのを予防し、地域で生きがいを持って生活できることを目的に街かどデイハウス事業を実施しており、市内に9つのデイハウスが開設されているが地域に偏りがある。これまで開設されていない地域からは、開設を要望する声が市民から上げられている。新たにNPO等が街かどデイハウスを開設するには、3ヶ月の実績が必要なことや、補助だけでは自立運営が難しいなどの理由もあって、地域の偏りが解消できてこなかった。高槻市でも高齢者が急増する中で、元気な高齢者の居場所づくりや、社会とのつながりが生きがいとなるような受け皿を増やしていくことは急務である。

本事業でこれまで街かどデイハウスがなかった高槻市城北町地域に、「すべての人のありのままが大切にされ、活かされる社会」の実現をめざし、男女共同参画・引きこもりの若者の就労支援・知的障がい者支援に取り組んできた市民団体が手を結び、高齢者・障がい者・女性、引きこもりの若者など課題を抱える人たちが、つどい、学び合い、社会とのつながりを通して生きがいを見いだせる拠点施設「生きがい工房」を2012年1月8日にオープンする。

「生きがい工房」では、1月から3月にかけて月1回の地域の演者によるオープニング記念イベント、週3回の高齢者支援機能「元気いっぱいサロン」、子育て中の女性や引きこもりの課題を抱える家族、セクシュアル・マイノリティの人を対象とした「あんしん＊Café」、月3回の大人や子どもを対象にした「教室」機能「はじめの一步支援・PC教室」などを開催する。

「元気いっぱいサロン」の給食やCaféについては、花の会の障がいを持つスタッフや日本スローワーク協会の引きこもりを経験したスタッフに対応を委託し、健康チェックとアロママッサージの指導は大阪医科大学看護学部の先生ならびに学生にお願いする。

また、高槻市内にある大阪府立阿武野高校には、知的障がいがある生徒が通う自立支援コース「ぴあ」がある。「生きがい工房」を、「ぴあ」の生徒の職業体験の場としても機能させ、若者と高齢者が相互に支え合う、人にやさしいまちづくりとなる新しい公共をめざす。

平行して月1回、支援者のためのスキルアップセミナー全3回を公開講座として開催し、新しい公共の担い手となる支援者の育成に取り組む。外部講師を招聘し、準備会では開催時の役割分担を明確にして、互いに学びあう場、「新しい公共」の概念を周知する場とする。

本事業では、3団体のこれまでの実績を活かした協働を展開する。NPO法人シーンが責任をもって事務局を担い、各団体から選出された委員で構成する協議体で取り組みに関する意見を出し合い、とりまとめ、事業に取り組んでいく。拠点となる物件の改修等については構成団体との協議の上、お茶

の間設計に委託する。事務担当スタッフが会計ならびに税務や労務に関する学習会に参加しスキルアップをはかる。本事業に関する会計監査は構成員である真継准教授にお願いする。本事業終了後も、NPO 法人 SEAN を中心に自立した継続運営をめざす。

「生きがい工房」開設準備会 事務局

NPO 法人 SEAN <http://www.npo-sean.org>

*添付 各団体・機関と「生きがい工房」の関係イメージ図

各団体・機関と「生きがい工房」の関係のイメージ図

- *各団体の事業の活性化（クッキーなどの販売・給食提供）
- *場の利用
- *広報・啓発・補助などの支援
- *人・専門性の提供

NPO 法人 SEAN

事務局

各事業の企画提供と総括・広報

保育

元気いっぱいサロン運営 他

NPO 法人日本スローワーク協会

カフェ・販売 他

社会福祉法人花の会

給食・販売 他

居場所と役割づくり

生きがい工房

（管理者：SEAN）

高槻市高齢福祉課

高槻市男女共同参画課

公的な広報

4 月以降の継続運営に向け
支援

職業体験

絵画作品などの提供

阿武野高校 ぴあ

大阪医科大学看護学部 真継准教授

学生のボランティア体験

専門家・講師の派遣（健康チェック・アロマ）

お茶の間設計

改修など